



たき火は必ず届出てから外出時火や施錠にご用心

火防歳末特別警戒

22日から31日まで

いよいよ本年も餘すところ後わざかとなり、市民の皆さま方にも年の瀬のあわただしい中に何とかと多忙のことゝ存じます。歳末をひかえてとかく人心が動搖します。

①子供の火遊び、または喫煙、たき火に充分注意すると共に、たき火をする場合には完全なる消防準備と、たき火をする時に必ず消防署に届け出でからにいたしましよう。

②残火または取灰の後始末は完全にいたしましよう。

③家の周囲とか、道路上に放置されるある薪および材料その他障害物があると、消防自動車が火灾現場に急行する場合、邪魔になります。

④電線が古くなつて被覆が

はげてるようなところはありま

せんか

⑤天井裏の配線がねずみによつて

せんか

⑥消火栓、防火貯水槽の周

囲に物件を存置または放

置してある所は、火災の

ましよう。

⑦火防歳末警戒実施計画に基づき来る二十二日から三十日までの十日間全

市にわたつて歳末警戒を行

うことになりまいたから、

市民の皆さまもうぞ、つ

ぎの事項をよくお読みにな

れることになります。

⑧万一の場合を考えて常に

水桶やバケツには水を入れて初期防火に必要な消

火準備をして置ましよう。

⑨出火した時の一杯の水

は五分後の十台の消防自

動車にもまさるのです)

⑩非常出口（出入口）はい

つでも使用できるよう

にしておきましょう。（新

付けや出口の周囲に邪魔

になります。

⑪「はかり」がうす暗い場

所に置かれていると、目

盛を読むのに間違いやす

いので、明るい場所で使

つてもらつて下さい。

⑫「はかり」の「おもり

も検定證印がついている

かどうかを確かめて下さ

ります。

⑬「はかり」の「おもり

はかり」の精度に注意し

て下さい。「はかり」の

一番小さい目盛が、五匁

より一匁の方が、精度が

よいのです。

⑭風袋を使って目方をはか

れています。

⑮味をとくのえで、人参をさ

とし、形を大体そろえておきます。

⑯人参は細いせん切りに卵はといてか

ら、炒り卵にしておきます。

⑰フライパンに油をとり、ソバを

充分炒めた中に、準備しておいたキ

ャベツと肉を加えて炒めながら混合

てどりとさせます。

⑱汁を決して多く

三時間ひたして臭みを消します。

⑲やわらかになつたころを見はからつ

て、鰯肉、もやし、正油、砂糖を加

えで味をつけ水ときの片栗粉を加え

ます。

⑳お味噌汁を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉑豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉒豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉓豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉔豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉕豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉖豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉗豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉘豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉙豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉚豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉛豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉜豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉝豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉞豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉟豚の骨を煮て、味噌を溶かして

お味噌汁を飲んでください。

㉟豚の骨を煮て、味噌を溶かして